

ピアホームだより

2014.10.10

ホームの行事の秘訣？

—今年の夏はプールめぐり—

放置しておく、一日中大きな音で音楽を聞きながら、大声で笑う我が子を見るのが耐え難く、お休みはいつしかお出かけ日になりました。実はその体験が、作業所やホームの行事に生きているのです。

昨年の収穫は東京体育館の本格的なプールが一般公開していることを見つけたことです。東京体育館は競技が行われる本格的なプール、広いトレーニング室もあり、プログラムも充実しています。私は初めてヨガ教室に参加しました。プールの後、簡易浴室で身体を温めれるのが嬉しいです

今年の夏は主に埼玉の温泉(浴室)付きプールめぐり。埼玉県は海なし県、子供が小さい頃は上尾のプールに行った記憶がありますが、

今や温水プール、遊園地のようなプールが沢山出ています。最近では、健康増進を目的にしたバーデプールと温泉が出来て来ました。

いずれも、ゴミ焼却場の整備が行われ、全体が公園ようになり、エコセンターを置き、温水利用施設併設となっています。

川口市の施設では、温水のミスト室まであって、清々しさを充分満喫しました。ふじみの市は出来たばかりで大賑わい、入場制限をしていました。さいたま市はこのようなプールの先駆け？一番古い施設の様です。

昔は、屋外25mプールがあっただけなのに---。世の中の進歩を感じます。こんな施設を考えだす人がいるとは一ほんとに素晴らしい発想です！

ということで、ホームの行事にもと考えています。プールとお風呂で500円程度、障害者割引で半額のところが多いですよ。

大切な人との別れ

60代を迎えて、それほど多くない大切な友人を次々亡くしています。

9月7日日曜日、都職員として勤務を初めて

以来の一番の親友と言える向井さんを肝がん で失ってしまいました。

墨東病院でフラグをつくり、しょっちゅう集まって議論して来た仲間です。家族ぐるみの付き合いも続けて来て想いは特別です。闘病中もちょくちょく遊びに行かせて頂きましたが、極力病気には触れず、現実を遠ざけていました。

1年半以上の闘病の末、再入院し、お見舞いに行ったその日に亡くなってしまいました。

珍しく見舞いに来てとメールがありました。

いつもは我慢していたと思います。もう言葉を発することもできず、最期に手を振って別れました。今にして思えば、渾身の「お別れ」だったんですね。

良き人が、どうしてこんなに早く逝ってしまうのでしょうか(=) 60代になれば、離れて行ってしまった大事な人に会っておかねば---。生きてるうちに感謝を伝え、思い残すことなくお別れしておかないとね！！

今後のスケジュール

<10月1日>新規入居

<10月25日>アドボケート会理事会